

参考資料

請 願 一 覧 表

請願番号	件 名	備 考
第 2 号	東京書籍中学校歴史教科書に関する請願書	意見陳述 希望あり

令和5年9月5日

刈谷市教育委員会 御中

# 東京書籍中学校歴史教科書に 関する 請願書

## 【請願趣旨】

日本の朝鮮併合統治に関する、東京書籍中学校歴史教科書(以下、東京書籍という)の記述の補足補正を求め、その補足補正資料を生徒に配布することを求めます。

別添に掲げる東京書籍の記述の項目ごとに、教育長を含む教育委員全員が、私が提案する補足補正の必要性の是非を明らかにして下さい。私の補足補正が妥当であると過半数の委員が判断した項目については、生徒へ資料として配布して下さい。勿論、提案趣旨を曲げない範囲内で、教育委員の権限に基づく加筆修正を認めます。

教育長を含む教育委員諸氏は、別表に示す歴史的項目ごとに、次のように判定を明らかにして下さい。

- ・ 東書に○印：[ ]の補足補正は生徒に無用。東京書籍の記述だけを教えればよい。
- ・ [ ]に○印：[ ]の補足補正も生徒に教えるべき。

尚、○を打たない、即ち「意見表明なし」はいけません。識見を有する教育委員の皆様は教育長も含めて、議会から一人一人承認を受けていますから、刈谷市の子供たちに対する歴史教育について、各自がその意見を公に表明する義務があります。

## 【請願書提出の経緯と理由】

歴史教科書は先祖の物語です。歴史教育によって、子どもたちが自分たちの父祖を立派な人たちと誇りに思うか、或いは反対に残虐な人たちと憎むのか、どのように生徒たちが受け留めるか、歴史教育の本来の目的に係わる最重要事です。自分のお爺ちゃんは隣人を苛めた人と言われて喜ぶ子供はいません。悲しくなるに決まっています。東京書籍の歴史教科書は、お爺ちゃんたちは隣国を苛めた悪人と教えています。本当にそうなのか、教育長始め各委員の皆様は真剣に考えて下さい。

東京書籍の朝鮮統治の記述には悪意を感じます。日本が朝鮮の進歩発展を慮って行った善政を全く除外して、「悪事」ばかりを生徒たちに教えています。朝鮮側からの一面的な「被害」の羅列です。それも、嘘を交えて言葉巧みに「日本は加害者、朝鮮はその被害者」を日本の子どもたちの脳裏に刷り込んでいます。

歴史教科書であるならば公平公正な観点から、日本が朝鮮でなした施策を、生徒たちに事実に即して正しく教えておくべきです。日本が行った施策は何から何まで全部正しかったとは申しませんが、帝国主義という国際環境においても、日本政府



は善意を持って臨んだと思います。日本政府の善意の欠片も教えない東京書籍は一面的であり歴史教科書として不適です。歴史教科書であるならば、多面的多角的に事実を教えなくてははいけません。「日本は加害者、朝鮮は被害者」を一方的に教える東京書籍は、丸で旧統一教会の手先、代弁者です。旧統一教会の問題が発覚したとき、教育委員の皆様は、東京書籍の歴史教科書を点検してみる必要がありました。今からでも遅くはありません。本請願書を参考に点検して下さい。

私が昨年末から、日本の朝鮮統治の実態を調べ、東京書籍の歴史記述を批判して教育委員の皆さまに訴えて来ました。ほぼ毎月文書を上程して教育委員の皆様にご注意を喚起し、そして判断を仰いで参りました。更に、8月の教育委員会会議において、私が提出した請願書の冒頭陳述で、東京書籍の記述について、東京書籍が子供たちにとって良い教科書かどうかどう考えるか、教育委員の皆様にご意見を求めました。然るに、金原教育長も他の委員からも、一言の発言もありませんでした。私は信頼を置いて来た教育委員の皆様にご期待を外され、がっかりしました。

そこで、止むを得ず今回、本請願書で改めて教育長を含む5人の教育委員の皆様のご意見を明確な形式で承ることにしました。本請願書に添付した提案書に、名前を明記して頂き、質問にお答えください。早めに事前配布しますから、9月の正式委員会会議で回答を頂きたく、お願い申し上げます。又、この正式教育委員会会議に出席する幹部職員の皆様にも、この調査に応じて頂きたく、お願いします。

教育長始め委員の職務権限に「教科書その他の教材に関する事」が明記されています。西三河地区採択協議会任せにしないで、教育長始め教育委員の皆様は、刈谷市の子供たちの為に、真摯に取り組んで下さい。自らの良心に従い、胸に手を当て、子供たちの為にじっくり考えて見て下さい。

「<sup>あやま</sup>過ちては則ち改むるに憚ること勿れ(学而第一)」と孔子が論じています。刈谷市の子供たちが、過った歴史観、取分け無用な贖罪意識に満ちた対朝鮮観を持たないように熟慮を尽くして下さい。そして、生徒たちがお爺ちゃんたちは、朝鮮人の為に尽くした立派な偉い人たちだったと、父祖に誇りを持つように東京書籍を早急に補足補正して下さい。

別添提案の内容について質問や疑問があれば、私に問い合わせして下さい。

以上

令和2年3月検定済み東京書籍中学校歴史教科書「朝鮮統治」補足補正の提案 1/4

作成令和5年9月4日

大正8年8月19日 朝鮮總督府官制改正の詔書(部分)

朕、夙に朝鮮の康寧を以て念と爲し、眞の民衆を愛撫すること一視同仁、朕が臣民として、秋毫の差異あることなく、各其の所得、其の生に賴じ、齊しく休明の澤を享けしめむことを期せり。(筆者注：「臣民」は君主国の国民、「休明の澤」は立派で明らかな恩恵)

回答者：

東書の記述だけを教えればよい → 東書記述 提案  
 提案も教えるべき → 東書記述 提案

項目	東京書籍の記述(192頁)	提案の記述	根拠/説明	判定	
小見出	韓国の植民地化	韓国併合統治	①「韓国の植民地化」と書けば、生徒は日本は韓国を植民地にして収奪した悪い国と受け留めます。日韓併合条約の正式名称「韓国併合に関する条約」に基づいて、「韓国併合統治」、もしくは「朝鮮併合統治」と書くべきです。	②「植民地化」という用語から、生徒は白人諸国がした収奪を目的とする植民地支配を連想します。日本は朝鮮、台湾、満洲及び併呑統治したパラオなど太平洋諸島から富を収奪していません。反対に教育を普及し、産業を興し、その国の発展に寄与しました。朝鮮半島のみに国を除けば、皆親日です。	東書記述 提案
韓国の植民地化	日露戦争の最中から、日本は韓国の植民地化を考えていました。	日露戦争が勃発すると直ちに、日本は大韓帝国(韓国の正式名称、以下韓国と記す)と「日韓議定書」を締結し、ロシアと戦うために軍事物資を遅滞なく戦いの前線に輸送する便宜を得ました。	①東京書籍のこの記述は、大國難を必死で防ごうとする自国・日本を、帝國主義の侵略國家であると印象付けています。日本の必死の努力を教えない東京書籍の記述は教育目的を外れています。プロパガンダと言ってもよいでしょう。 ②明治37年2月9日日露戦争開戦後、2月23日に締結した「日韓議定書」の主な合意事項は次の通りです。ロシアによる韓国侵略防止が主意です。植民地化など考えてもいません。 (1)日本は韓国の独立及び領土保全を保障する (2)韓国の皇室と領土保全に危険がある場合、韓国政府は日本の行動を容易ならしめるために便宜を与える	③日本はロシアに対して国力も軍事力も通かに劣勢でした。日本は韓国を植民地にしようなど考える余裕はありません。ロシアは満洲を既に支配下に収め、次に陸続きの韓国を取り、その後で日本を侵略する計画です。その当事者である韓国は、自国を防衛するために何もしようとはしませんでした。日露戦争はロシアの朝鮮半島への南下を防ぐために、日本が韓国に代って戦ったとも言えます。帝國主義が世界を席巻していた時代、自ら戦おうとしない国は強国の保護下に置かれる運命を免れません。このような歴史の教訓を生徒に教えるべきです。	東書記述 提案
韓国の保護国化	そして、1905(明治38)年に韓国の外交権をうばって保護国にし、韓国統監府を置きしました。初代の統監には伊藤博文が就任しました。	明治38(1905)年11月に「日韓協約」を結んで、韓国に統監を置くこと、韓国の外交は日本政府の仲介を要することを約束しました。 大韓帝国は自立できない国で、いつも強い国に靡くばかりで、方向が定まりませんでした。そのために日本は韓国を保護国にして、外交を指導することにしました。	①東京書籍は何故韓国が外交権を失うに至ったのか、その原因を教えていません。歴史教科書として欠陥です。この書き方では日本が一方的に悪い国と見做され、生徒は訳も分からないまま、自国を悪い国と判断してしまいます。 ②韓国は日清戦争以前は宗主国の清国に従属し、日清戦争後は勝利した日本に従い、日本が屈した三国干渉後は強国ロシアに靡きました。	③このような韓国の主体性を喪失した不定外交が日本の安全保障と東アジアの不安定要因になっていました。韓国自体に外交権を失った責任があることを教えるべきです。 ④1905年日韓協約を結び、韓国の外交権を日本の監理下に置く事を約束させました。	東書記述 提案
韓国皇帝の讓位	1907年には、日本は韓国の当時の皇帝を退位させ、軍隊も解散させました。	1907年大韓帝国皇帝高宗は、1905年に締結した日韓協約に違反して、密使をオランダに派遣しました。条約違反の責任をとって高宗は退位し、子の純宗が位を継ぎました。時の首相の李完用も皇帝に讓位を主張しました。  純宗は軍隊の解散を命じる詔勅を出し、韓国皇帝を護衛する兵を残して、軍隊を解散させました。日本は職を失った将校や兵士たちが路頭に迷わないように、各種の職員として雇傭しました。	①東京書籍は高宗皇帝が退位した原因である条約違反を書かないので、生徒は日本がやたらに横暴な処置を採ったと誤って理解しかねません。退位した原因を教えるべきです。日本を一方的に悪者と断ずることは間違いです。 ②韓国の軍隊は1万人程度いましたが、装備が劣悪で訓練も行き届かず、役に立つような軍隊ではありませんでした。日本は軍隊を解散させましたが、兵士たちが路頭に迷わないように、様々な形で雇傭を継続しました。日本の優しさ証左です。	③日本が日清日露戦争を戦った頃は、西洋列強が植民地争奪に狂奔する帝國主義の時代でした。弱国に対する不平等条約が当たり前で、日本もその被害を被っていました。しかし、不平等条約と雖も、締結した限りは遵守義務があります。日本が韓国に不平等条約を結ばせた理由は上述しました。  ④歴史教科書は、帝國主義時代の苛烈な国際関係の実態を生徒に教えておくべくです。	東書記述 提案

令和2年3月検定済み東京書籍中学校歴史教科書「朝鮮統治」補足補正の提案 2/4

項目	東京書籍の記述(192頁)	(提案)記述の是正文	根拠/説明	判定	
義兵	韓国の国内では日本に対する抵抗運動が広がり、元兵士たちも農民とともに立ち上がりました。	高宗から純宗への譲位式の日、義兵と称して各地で暴動が発生しました。 義兵は国難に殉じようとした儒者たちと職を失った元兵士たちが主体でした。元兵士たちの義兵は、民衆に対して食糧強奪などの乱暴を働いたので、村々は困り、自警団を組織したり、日本軍に討伐を依頼しました。そして、短期間の内に強力な日本軍に鎮圧されました。	①東京書籍は「元兵士たちも農民たちとともに立ち上がりました」と書き、生徒に「虐げられた農民と正義の味方の義兵」を印象付けて、日本を暴虐な国と教えようとしています。実体とは違っています。「農民が立ち上がる」という表現は反権力を植え付ける、為にする曲筆です。又、農民たちも乱暴な元兵士や反乱に便乗した悪い人たちに苦しめられました。東京書籍の記述は根拠がありません。	②国難に殉じた儒者たちの暴期は立派でした。日本軍は感動し遺体を丁寧に郷里へ送り届けました。  ③反乱を起こした兵士たちは賊い方を知らない上に装備が旧式でしたから、ロシア軍を撃破した日本軍に敵うはずがありません。乱暴な義兵から村を守るために「民討伐団」を組織して、日本軍に協力した村もありました。	東書記述  ■提案
国名と都の名前変更	1910年、日本は韓国を併合しました(韓国併合)。韓国は「朝鮮」に、首都の「漢城(ソウル)」も「京城」に改称されました。	1910年、日本は大韓帝国と「韓国併合に関する条約」を締結して、韓国を併合しました。併合によって、韓国は国が消滅しましたので、地域名として大韓帝国と改称する前の国名「朝鮮」に戻し、中国の都を意味する「漢城」を、単に都という意味の「京城」としました。	①東京書籍の記述は日本の強引な強制命令を感じさせ、生徒は日本を暴虐な国と心に映じます。朝鮮人の悲哀を感じさせますが、東京書籍は国際関係の厳しい現実を教えるべきです。朝鮮人が苦境に落ちた原因は、窮迫する国際情勢に無為無策で、少しも国民を守ろうとしなかった朝鮮政府の失政に根本原因があります。日本政府とは天地の差です。日本の生徒にも、朝鮮政府の無策が国民に辛酸を齎めさせた原因であることを、他山の石として教えて置くべきです。	②韓国は自立できない、自立する努力もしなかった国でした。韓国は不定外交は東アジアの不安定要因になっていました。通商を重視する西洋列強は、日韓併合が東アジア情勢の安定に帰すると、賛意を表しました。反対した国は元宗主国の清国だけでした。 ③国が消滅したので、「大韓帝国」を名乗れません。元の国名「朝鮮」を地域名として残しました。	東書記述  ■提案
武力弾圧	強い権限を持つ朝鮮総督府を設置して、武力で民衆の抵抗をおさえ、植民地支配を推し進めました。	日本は朝鮮を併合すると、両班政治の暴政下で苦しんでいた朝鮮人の生活を改善するために、朝鮮総督府を置いて、民生の向上を図りました。近代化の具体的政策は口述します。	①「強い権限を持つ朝鮮総督府」「武力で民衆の抵抗をおさえ」「植民地支配を推し進めました」という表現は生徒の心を苛みます。こんな乱暴な言葉を使われる生徒が可哀想で堪りません。この物言いは旧統一教会の暴言と同じです。 ②この時代、無学な農民たちは国家意識など持ち合わせてはいません。日本も中国も朝鮮も同様で農民たちは国家という観念が希薄でした。「民衆の抵抗」などありません。愛国心を持つ儒学者や元兵士などを主体とする叛乱です。	③大韓帝国の首相李完用は、合邦を推進した理由を「朝鮮の専制王朝が最後まで文明開化を拒み、過度の浪費で、極貧と飢饉に疲弊する民族を放置していることを見るに見かねて、日本の全面的協力を得て民族の再興を期するためであった」と述べています。東京書籍の記述とは全く違った判断です。 ④叛乱を起こした儒者や兵士たちの愛国心は民族を超えて称賛すべきです。東京書籍はこの美事を生徒に教えるべきです。	東書記述  ■提案
日本人に同化	学校では、朝鮮の文化や歴史を教えることを厳しく制限し、日本史や日本語を教え、日本人に同化させる教育を行いました。	朝鮮には一般国民が学習する公立学校がありませんでした。財政窮乏の朝鮮に替って、日本が自国の予算を使って学校を建てました。 その学校で、朝鮮人が自国の言葉と歴史を忘れないように、日本語と共に朝鮮語や朝鮮の歴史を教えました。朝鮮人が日常使っているハングルは日本が普及しました。	①東京書籍はこれでもかこれでもかと生徒の心を苛める説明です。朝鮮人から朝鮮語と歴史を奪ったと読ませる、悪質な言い回しです。心を痛める生徒たちが可哀想でなりません。事実とは反対です。日本が日本人の税金を使って学校を建て、朝鮮人の子供たちが学習する場を作りました。 ②大東亞戦争中の4年間を除く凡そ30年間、ハングル文字や朝鮮の歴史を教えました。	③隣国の発展のためにこのような施策を行った父祖たちは尊敬に値します。生徒も父祖たちを誇りに思うに違いありません。 ④東京書籍は「同化させる教育」と教えていますが、事実とは反しています。日本の施策はこの資料の冒頭に掲げた大正天皇の詔勅にある「一視同仁」で、日本人と分け隔てしない施策です。	東書記述  ■提案

令和2年3月検定済み東京書籍中学校歴史教科書「朝鮮統治」補足補正の提案 3/4

項目	東京書籍の記述(192頁)	(提案)記述の是正文	根拠/説明	判定	
韓国の独立	植民地支配は、1945年(昭和20)の日本の敗戦まで続きました。	日本の敗戦に伴い、朝鮮は朝鮮半島に進駐したアメリカ軍の施政下に入り、続いて、連合国の信託統治下に置かれました。その後、朝鮮半島は南北に分裂して、南に大韓民国が1948年(昭和23年)8月15日に独立し、続いて北朝鮮も同年9月9日朝鮮民主主義人民共和国として独立を宣言しました。	①東京書籍は、日本による「植民地支配は・・・続き」と書き、「日本は悪い国」を何度も生徒に押し付けています。生徒は悲しくなるに違いありません。正しく「併合統治」と書くべきです。 ②日本が朝鮮半島で行った施策は、白人が世界中で行った収奪を旨とする植民地支配と比較すれば、真反対の善政です。白人の「植民地支配」と同列に位置付ける説明は間違っています。	③「植民地支配が日本の敗戦まで続いた」という書き振りは、韓国の独立を教えるのではなく、日本を悪者に見立てることに注意があります。東京書籍は歴史を教える目的から外れています。 ④東京書籍は韓国の独立だけを書き、北朝鮮の独立には触れていません。南北に分裂して独立したことを教えない東京書籍は欠陥教科書です。	東書籍記述 ■提案
土地調査	土地制度の近代化を目的として日本が行った土地調査事業では、所有権が明確でないとして朝鮮の農民が多くの土地を失いました。こうした人々は、小作人になったり、日本や満州へ移住しなければならなくなったりしました。	日本は朝鮮を近代国家に育成するために、その基礎となる土地調査を行い、8年の歳月をかけて、朝鮮全土を測量しました。一人一人の所有権を明示する地図を作り、所有主、面積、地種、地価などを詳細に記録しました。農民も自分が土地の所有主として登記されることを喜び、進んで土地調査に協力しました。	①東京書籍は嘘で固めた記述です。このような嘘を吹き込まれる生徒たちが可哀想でなりません。日本はずい国で、自分のひお爺ちゃん、お爺ちゃんたちはその手先になって朝鮮人から土地を奪った悪人だったと教えられています。 ②事実として土地調査事業を生徒に教えれば、朝鮮の近代化の基礎固めに8年間を捧げた父祖たちの壮大な事業に驚嘆し、尊敬の念を懐くに違いありません。父祖たちを尊敬し、日本は他所の国のために大変よい事をしたと誇りに思うではありませんか。これこそ、歴史教育の目的です。	③昨年末に皆様にお渡しした「亡国の歴史教科書」のコピー資料を再度お読み下さい。日本の業績を詳しく書きました。 ④東京書籍は「近代化を目的」とだけ書き、土地調査の中身を教えていません。日本は悪事を働いただけであると生徒に教え込みたいようです。歴史教科書として悪意の欠陥です。	東書籍記述 ■提案
皇民化政策	植民地の朝鮮では、日本語の使用や神社参拝の強要、姓名の表し方を日本式に改めさせる創氏改名などの皇民化政策が進められました。	大正天皇の詔勅を奉じて、日本は朝鮮人の民生を日本人と差別なく、同じ水準に引き上げようとしてきました。これを「一視同仁」と言います。創氏改名は戸籍に家族名(氏)を新たに作る目的でした。戸籍をもたなかった下層階級や奴婢が苗字を得て、両班による身分差別を解消されました。	①東京書籍の悪質な記述を読む生徒たちは、日本人に生まれたことを呪います。この嘘記述を信じた正直で誠実な生徒は、旧統一教会にお金を要求されれば、唯々諾々とお金を貢いでしまうでしょう。東京書籍は旧統一教会の手先です。 ②ここでも「植民地」と書き、何度もこれでもかと生徒の心を苛みます。 ③東京書籍は「改めさせる」と書き、生徒に強制を連想させていますが、創氏改名は申告制であり、強制ではありません。洪恩翊は朝鮮名のまま日本陸軍中尉に、朴泳孝は侯爵に、朴春琴は国会議員になりました。	④創始改名しても「李」とか「金」という姓はそのまま戸籍に残ります。 南次郎総督は創氏改名は強制ではないと、何度も新聞へ広告を出して注意を喚起しました。 ⑤神社参拝も強要していません。 ⑥「皇民化政策」などという日本の政策もありません。日本は内鮮一体を目標とする様々な民生向上政策を実施しました。これを「一視同仁」と言います。 ⑦この当時、世界には一等国、二等国、三等国という序列がありました。日本は一等国、清国は二等国、朝鮮は三等国でした。朝鮮人の満洲移住の誘因の一つに、日本名を名乗って一等国人になりすますことでした。今まで馬鹿にされていた二等国の清国人や満洲族に対して、上位に立つことができたからです。	東書籍記述 ■提案

令和2年3月検定済み東京書籍中学校歴史教科書「朝鮮統治」補足補正の提案 4/4

項目	東京書籍の記述(192頁)	(提案)記述の是正文	根拠/説明	判定	
志願兵	さらに、志願兵制度が実施されるなど、朝鮮の人々も戦争に動員されました。	当時、朝鮮は日本の併合国家でしたから、朝鮮人も日本国民でした。それでも、朝鮮人は兵役義務を免除されていました。支那事変(日中戦争)の激化により、朝鮮人も戦争への参加を求められ、志願兵制が施行されました。朝鮮の若者は徴募に殺到し、定員の約40倍もの大勢の人が応募しました。沢山の朝鮮人が応募した理由には、両班の身分差別からの脱出や、立身出世などがありました。日本人と同様の徴兵制施行は大東亜戦争末期の昭和19年9月からです。	①東京書籍は、「動員されました」と書き、日本が朝鮮人を戦争に無理矢理駆りだしたように理解させています。生徒たちは、朝鮮人に対して済まないことをしたと慙愧の念を懐き、先祖を恨むでしょう。実際は、志願兵に朝鮮人の若者が自主的に殺到しました。強制的な動員ではありません。 ②志願制を敷いた昭和13年から18年の間に、1万6664人の募集に対して80万2049人の凡そ50倍もの応募がありました。朝鮮人が軍人を志望する動機には、様々な理由がありました。その理由は先にお渡しした拙著のコピーをお読み下さい。	③東京書籍の記述は朝鮮人の「被害」だけを過剰に強調しています。志願兵に大勢が応募した事実とその理由を教えるべきです。徴兵制度も合わせて教えるべきです。 ④先の大戦で、日系アメリカ人は隔離収容所から米軍に率先志願して、欧州戦線へ出征し命を投げ出して戦いました。その動機は自分や子孫がアメリカ国民と認められることを願ったことでした。彼らの心情は朝鮮人志願兵と相通じる所があります。歴史教育では、朝鮮人の「被害」だけを冒挙げるのではなく、公平客観的な観点から当時の人々の心情を教えるべきです。	東書記述 ■提案
二つの短歌	A寺内正徳(初代朝鮮総督)の歌 小早川加藤小西が世にあらば 今宵の月をいかに見るらむ B石川啄木(歌人)の歌 地図の上朝鮮国と黒々と 墨をぬりつつ秋風を聴く	寺内の歌は武人として、秀吉の朝鮮征伐で、朝鮮を版図に加えられなかった感慨を描いた歌。石川の歌は一市人として、朝鮮国が減んだことを懐れむ歌です。 この後、日本統治下で未開国家朝鮮が長足の発展を遂げたことを知ったなら、又、違った内容の歌を詠んだことでしょう。	①この2首は歴史教育ではなく、感情教育です。この歌を読まれる生徒の心の痛みを押し置けて下さい。この歌を旧統一教会は手を打って喜びます。 ②この2首は教科書から消すことができませんから、左記の弁明を生徒に教えます。	③朝鮮政治の実体は先にお渡ししたマッケンジー著作の補足資料Aをお読みになれば分ります。未開国家朝鮮を近代国家に育てた日本の功績を教えるべきです。生徒たちは先祖を誇りに思うでしょう。これこそ、歴史教育の重要な目的です。	東書記述 ■提案
東京書籍が書いていないこと		東京書籍が見向きもしない以下の日本の業績を生徒に教えて置きたい。生徒は日本は良い国、偉い国、先祖は偉かったと嬉しく思うに違いありません。これらの事実は、嘘ではなく本当の事です。日本は台湾、朝鮮、満洲でも、同じ考えで統治し、日本国内と同様の水準に引き揚げようとしてきました。 ①日本は朝鮮を近代国家に育てるために、30数年間に互り日本国民の税金を朝鮮に投下し、朝鮮の歳入の半分から約3分の2を負担しました。 ②日本は政治制度、司法制度、経済制度、貨幣制度、財政制度、文教制度、産業科学技術など近代国家に必要な諸制度や技術を朝鮮に根付かせました。これら諸制度諸分野の用語の殆どは日本人が欧米の文献資料の横文字を漢字に置き換えた表記そのままです。 朝鮮は漢字使用の国でしたから、自国を近代化しようとする朝鮮人は日本で使われている漢字表記をそのまま移すことが最も簡単な方法でした。 ③日本は鉄道、道路、港湾、植林、電力・ダムなどの各種のインフラ設備を朝鮮に建設しました。		東書記述 ■提案	

本資料の根拠資料は先にお渡しした「亡国の歴史教科書」のコピーにほぼ記載しています。今一度、のコピーをお読み下さい。

本表の内容について、質問や疑問があれば へ連絡下さい。